

大磯の文化財 ④

みどころ スポット Vol.4



こうらいじまち 高麗寺祭

大磯の春を告げるお祭り、高来神社の春の大祭、高麗寺祭が開催されます。

神社境内より高麗山の社まで山道を引き上げる山神輿は迫力満点、見ていただけでもドキドキしますが一緒に参加することもできます。

また、神社の周辺では祭りを盛り上げる植木市も開催され、多くの方で賑わっています。



〈高麗の山神輿〉

▶とき 4月16日(金) 午後6時頃～

▶ところ 高来神社境内～高麗山山頂

〈植木市〉

▶とき 4月17日(土)・18日(日)

午前9時～午後9時ごろ

▶駐車場がありませんので、車での来場はご遠慮ください。

問 観光推進室 内線248

大磯の文化財 ④

大磯町指定民俗資料

高麗の山神輿

やまみこし

明治政府の神仏分離令により廃寺となった高麗寺の本尊である千手観音の祭りですが、現在では高来神社の春祭りとしての印象が強くなっているようです。この祭りのなかの山神輿行事は、寛永21年(1644年)に始まったと伝えられ、高来神社下宮の神霊を神輿に移し、麓から山頂の大堂上宮に担ぎ上げるというものです。

千手観音の祭り(4月17・18日)に大勢の人たちが集まるために、地上の穢れを避けて前日(4月16日)に山頂の上宮に仮宿するのだといわれています。高麗山で一番急な男坂を登るため、鳳凰等はずした山神輿の前棒には150mの大綱(親綱)と、後棒に30mの横綱2本が取り付けられています。辺りが薄暗くなる午後6時ころ、人々が大綱に付き、掛け声も勇ましく「上宮渡御」を開始します。途中で何回も転倒や小休止を繰り返しながら、午後8

時ころ女坂との合流点(八景、中の坊跡)に到着し、大休止をとります。そこでは、お神酒や水、おにぎり、香の物が担ぎ手らに振舞われます。最後の100段の石段を登り詰めると上宮に着し、担ぎ手は境内を所狭しと練り歩きます。午後9時ころ、神事を行って登御が完了します。

祭りが終わる4月18日の午後山神輿は装飾品を付けて「還御祭」を開始します。神輿の後ろに綱を付けて支えながら女坂を下り、掛け声もやさしくゆつくと下宮に還御します。(高麗の山神輿—30年のあゆみ—より)

◎問い合わせ

生涯学習課 内線323

文化財消防訓練



3月14日(日)、文化財消防訓練を寺坂地区の王福寺で実施しました。

◎問い合わせ

生涯学習課 内線323

当日は、消防車による出動・消火訓練や文化財の搬出訓練などをご住職はじめ王福寺の方と、消防署員・消防第7・8分団と一緒に、真剣に取り組みました。

町では、毎年1月の文化財防火デーに合わせ、文化財施設防火点検を実施していますが、今回の文化財消防訓練は初の試みでした。今後とも文化財保護へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

川奈警察 高麗防犯パトロール隊が表彰されました

高麗地区では平成17年10月より町内会を中心に、地域の安全・安心のために防犯パトロール隊を組織し、また、昨年から青色回転灯搭載車導入して町内の巡回をされています。

この度、日頃の活動が認められ、神奈川県警から本部長褒章を受けられました。皆さんの積極的な自主活動に感謝いたします。また、これからも健康・安全に気をつけパトロールをお願いします。



▲表彰を受けられた高麗防犯パトロール隊のみなさん

◎問い合わせ

町民課 内線237